

平成30年度 建設部の「実行宣言」

作成者 (評価者)	部長	長野 功
--------------	----	------

基本方針と使命
<p>建設部は、平成29年度より組織改編に伴い7課2事務所となり、災害から市民を守り、安全で安心な生活環境を確保するために、道路、河川、公園、住宅等の生活基盤の整備促進、将来における各施設の長寿命化や安全対策の強化、日々の維持管理に努め、市民が幸せを感じ楽しく生活できるまちづくりを推進しています。</p> <p>また、社会経済情勢の変化に対応した松阪市の将来都市像、土地利用計画、まちづくりの見直しを進めるとともに、市の魅力を後世に伝えるために歴史、文化、景観等の地域の特性を生かしたまちづくりをめざしています。</p>

『松阪市総合計画』 との関わり	2 いつまでもいきいきと（福祉・健康づくり）
	5 安全・安心な生活（防犯・防災）
	6 快適な生活（生活基盤の整備）

平成29年度の評価			
評価基準…A（90%以上）、B（70～89%）、C（50～69%）、D（30～49%）、E（29%以下）			
宣言①	安全・安心インフラ、生活インフラの整備を進めます！	評価	A
<p>【主な理由】</p> <p>土木課では、平成29年度、国道42号松阪多気バイパスが全線開通し市としても盛大に開通イベント等を開催しPRすることができました。また、松阪市総合運動公園内に建設するスケートパークの設計においては、特殊な工事であることから、地元のスケートボード愛好家や協会等との協力を得ながら設計業務を行い、作業に時間を要したものの年度末に工事発注を行いました。総合雨水対策10か年戦略事業では、三重県と連携し床上浸水ゼロをめざした三渡川、百々川、愛宕川、名古須川の浸水対策について一定の整備方針を見出せたものの、百々川においては更に検討が必要となりました。10月には台風21号の影響で多くの公共施設に被害が発生し、深夜に及ぶ台風時の対応、その後の災害復旧に対し連日連夜の対応を行い、緊急性のある市単災害復旧工事においては約88%程度の工事が完了しました。</p>			

【部局長シート】

<p>宣言②</p>	<p>地域における住環境の整備を進めます！</p>	<p>評価</p>	<p>B</p>
<p>【主な理由】</p> <p>建設保全課及び北部・西部建設保全事務所では、施設の老朽化などの課題があるものの、市民からいただく多種多様な要望に対する取組及び安全で快適な生活空間を維持するために取り組んでおり、道路・河川維持修繕に関する地元要望604件に対し、370件、約61%について実施しました。交通安全施設であるガードレールは224m修繕し、区画線は17km、カーブミラーは68基設置しました。しかし、道路管理瑕疵による事故が6件発生し、施設の老朽化や管理範囲の増大に伴う今後の維持管理に対する課題が生じています。また、平成29年度の組織改編に伴い、平成28年度まで各地域振興局地域整備課で行っていた業務を北部・西部建設保全事務所に対応することとなり、地域のみなさんには不便をおかけするところもありましたが、地域振興局や関係各課と連携し対応することができました。</p>			
<p>宣言③</p>	<p>「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に沿った業務を進めます！</p>	<p>評価</p>	<p>A</p>
<p>【主な理由】</p> <p>住宅課では、平成28年度に提出された「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に基づき、それぞれの事項の実現に向け取り組んでおり、老朽住宅の住替えにおいては13件移転してもらいました。また、指定管理者制度の導入にあたっては、受託実績のある民間事業者からの調査や委託する業務・市で行うべき業務の整理など検討を進めました。利便性係数及び市営住宅使用料（家賃）の見直しについては、平成29年度に見直しを行い平成30年度から新たな家賃基準の適用をめざして業務の進捗を図っていましたが、大幅な家賃増となる事例があり、係数の見直しや家賃に係る激変緩和の検討など、最終的な体制整備には至らず、更に調査を行い次年度以降の対応となりました。また、市営住宅における老朽化が以前にも増して進んでおり、突発的な対応や長寿命化修繕計画の見直しが必要となっています。</p>			
<p>宣言④</p>	<p>迅速で正確な事務処理を行います！</p>	<p>評価</p>	<p>C</p>
<p>【主な理由】</p> <p>用地対策課では、境界立会いにおいて迅速に対応するために、申請書を受理した日から3週間以内に1/2以上実施するといった独自の目標をたてました。申請件数269件に対して88件、約33%は実施できましたが、境界立会いを行うにあたり、申請者・地元自治会・関係隣接地の所有者等の日程調整に時間を要するもの、古い関係書類（分筆図・旧図）や法務局等での調査に時間を要することがあり遅れた部分がありました。用地買収業務においては、道路改良工事等に伴う用地の取得を行うために、用地交渉を行い取得することができました。</p>			

【部局長シート】

宣言⑤	市民が住みやすく誇りをもつことが出来るまちづくりの方針を示します！	評価	A	
<p>【主な理由】</p> <p>都市計画課では、「松阪市景観計画」が策定後8年経過し課題等もある中で、太陽光発電施設の設置に関する景観形成ガイドラインを作成しました。併せて、景観重点地区候補地の景観まちづくりに対する活動支援、景観絵画コンクールなどPRを行いました。屋外広告物事業では、許可事務、措置命令・指導事務、指定事務を行い、屋外広告物適正化旬間中には市内一円のパトロールを実施しました。</p> <p>また平成29年5月には、20年後の中心市街地の将来像を描いた「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画を策定しました。併せて、「松阪市都市計画マスタープラン」の中間見直し、立地適正化計画の策定に取り組んでおり、庁内検討委員会を4回、庁内作業部会を5回開催し検討を行いました。</p>				
宣言⑥	営繕工事を適正に実施します！	評価	A	
<p>【主な理由】</p> <p>営繕課では、合併特例債の期限を見据えて各課からの工事依頼が多くありましたが、松浦武四郎誕生地保存修理工事や図書館改修工事などの工事、業務委託等を工期内に無事完成させることができました。市の公共施設における営繕工事及びその関連業務を適正に実施することを使命とし、市民のみなさんが安全で安心して使用できる公共施設の構築や快適で機能の充実した施設の建設に努めました。</p>				
宣言⑦	適切かつ円滑な建築・開発行政を行います！	評価	A	
<p>【主な理由】</p> <p>建築開発課では、平成29年度は、建築確認電子台帳整備を行い、災害等により紙媒体が滅失した場合でも電子データが安全に保管され、また建築計画概要書等の開示請求の迅速な対応も可能となるなど、市民サービスの向上に努めました。また、開発許可申請の受付・指導を行っており、平成29年度からはこれまで三雲・嬉野地域振興局地域整備課で行っていた開発業務を本庁に一本化し対応しています。</p>				
部局マネジメント方針				
毎日の朝礼の実施と毎週1回課長以上でミーティングを持ち、情報共有を行います。		評価	A	
時間外を平成28年度実績より5%削減します。		評価	E	
『松阪市総合計画』関係施策の進捗度				
①	施策名	2-④ 地域福祉・生活支援の充実	目標 (H31)	評価
	活動指標	市営住宅応募率（応募者数／応募戸数）	1.0倍	A
②	施策名	5-⑥ 浸水対策の充実	目標 (H31)	評価
	活動指標	河川改修（九手川・中川）の整備延長	1,430m	B
③	施策名	6-④ まちづくりの推進	目標 (H31)	評価
	活動指標	“豪商のまち松阪”生き生きプランにもとづく事業の完了	3項目	A
④	施策名	6-⑤ 景観の保全	目標 (H31)	評価
	活動指標	景観重点地区の指定数	4地区	E

【部局長シート】

⑤	施策名	6-⑥ 道路・公園の整備	目標 (H31)	評価
	活動指標	都市計画道路の整備率	46.8%	A
	活動指標	橋梁耐震補強の整備数	46橋	D
	活動指標	1人当たりの都市公園面積	12㎡	E



平成30年度 建設部の「実行宣言」

宣言①	安心して住めるインフラ整備と快適な憩いの空間づくりを進めます！
宣言②	安全で快適な生活空間の維持管理に努めます！
宣言③	「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に沿った業務を進めます！
宣言④	迅速で正確な事務処理を行います！
宣言⑤	地域の特性を生かした都市づくりをめざします！
宣言⑥	公共施設の営繕工事を適正かつ着実に実施します！
宣言⑦	適切かつ円滑な建築・開発行政・空家等対策を行います！

部局マネジメント方針

●計画から実行への工程管理

多種多様な事業を効率的に実行するために、主な事業における年間スケジュールを作成し、3ヶ月毎に工程管理を行います。

●情報共有とコミュニケーションの充実

職員間の情報共有とコミュニケーションを図るために、毎朝の朝礼と毎週1回幹部会議を行います。

●ワークライフバランスの充実

職員の健康管理とワークライフバランスの充実を図るために、時間外を前年度より3%削減します。

【課長シート】

組織名	土木課		作成者（評価者）	課長 松本 尚久
関係する 「実行宣言」	平成29年度	安全・安心インフラ、生活インフラの整備を進めます！		
	平成30年度	安心して住めるインフラ整備と快適な憩いの空間づくりを進めます！		
関係する『総合計画』施策	5-⑥ 浸水対策の充実			
	6-⑥ 道路・公園の整備			
課の基本方針と使命				
<p>土木課は、市民の「安全・安心な生活」を実現するため、床上浸水ゼロを目標に中小河川の改修や市街地の排水路整備など、浸水被害の軽減効果が早期に発揮される事業を進め、自然災害に対しては、警戒態勢を強化し、被災した場合は迅速な機能回復に努めます。</p> <p>併せて、市民の「快適な生活」を実現するため、安全な道路と市民が憩う公園のあるまちをめざし、道路の整備や橋りょう等の長寿命化を進めるとともに、スポーツの機会を創出する松阪市総合運動公園の建設やまちの公園の適切な管理を進めます。</p> <p>これらの取組により、市民が安全で安心な、また快適な生活が営まれるまちづくりをめざします。</p>				

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・道路整備単独事業費では、5路線の整備ができ、嬉野小村線においては前倒しして完成することで事業効果が高まりました。
- ・橋りょう長寿命化事業費では、上前谷橋およびばんや谷橋の整備ができ、飯高町森から国道166号に至るルート安全性が増したことで地域の避難経路としての利便性が高まりました。
- ・浸水対策事業費では、423mの整備ができ、上川排水路は、計画していた全箇所が完成したことにより浸水被害の軽減が期待されます。

【達成できなかったこと】

- ・道路橋梁一般経費では、コスト削減1%の目標に対し国道42号松阪多気バイパス開通イベントの規模に合わせた負担金100万円が必要となったため経費的に7%増となりました。
- ・河川改良単独事業費では、120mの目標に対し富士見谷川の地権者との施工時期の調整で112mとなりました。
- ・準用河川九手川改修事業費では、目標として護岸整備延長30mの整備に対し、平成29年度の整備箇所が本線ではなく取付護岸の整備であったため本線の護岸整備延長としては0mとなりましたが、年度末に国からの補正予算がつき繰越工事10mの発注を行いました。
- ・総合雨水対策10か年戦略事業費では、新松ヶ島排水路および垣鼻排水路を整備したことにより、道路の冠水被害等の軽減が期待されますが、三重県と連携し床上浸水ゼロを目指した三渡川、百々川、愛宕川、名古屋川の浸水対策においては、一定の整備方針を見出せたものの百々川においては更に検討が必要となりました。
- ・総合運動公園建設事業費（単独、補助）では、期末の整備率90%に対しスケートパークなど全体事業費の見直しにより88%に減少しました。

土木課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度					平成30年度						
				予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標			方針	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標			方針
1	三重県社会基盤整備協会負担金	一般	6-⑥	2,145	/	活動指標			→ 現状維持	2,071	/	活動指標			→ 現状維持
						協会に関係する会合への参加						協会に関係する会合への参加			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				5回	6回	A					5回				
2	道路橋りょう一般経費	一般	6-⑥	6,549	/	活動指標			→ 現状維持	8,596	/	活動指標			→ 現状維持
						コスト削減率 (H28年度当初予算対比)						コスト削減率 (H29年度当初予算対比)			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				1%	-7%	D					1%				
3	島田北10号線道路新設事業費	一般	6-⑥	15,000	/	活動指標			↓ 縮小	0	/	活動指標			→ 現状維持
						県との事業調整協議回数						県との事業調整協議回数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				3回	3回	A					3回				
4	道路整備単独事業費	一般	6-⑥	199,200	/	活動指標			→ 現状維持	187,100	/	活動指標			→ 現状維持
						事業完了予定路線数						事業完了予定路線数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				3路線	5路線	A					2路線				
5	星合舞出線道路改良事業費	一般	6-⑥	40,000	/	活動指標			↓ 縮小	20,000	/	活動指標			→ 現状維持
						期末の事業進捗率						期末の事業進捗率			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				28%	28%	A					35%				
6	松阪六軒線道路改良事業費	一般	6-⑥	60,000	/	活動指標			↑ 拡大	90,000	/	活動指標			— 終了
						期末の事業進捗率						期末の事業進捗率			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				75%	75%	A					100%				
7	国道42号松阪多気バイパス関連整備事業費	一般	-	3,000	/	活動指標			→ 現状維持	3,000	/	活動指標			→ 現状維持
						事業実施箇所						事業実施箇所			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				1箇所	1箇所	A					1箇所				
8	最終処分場関連道路等整備事業費	一般	6-⑥	16,000	/	活動指標			→ 現状維持	45,000	/	活動指標			→ 現状維持
						事業実施路線数						事業実施路線数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				3路線	3路線	A					2路線				
9	橋りょう長寿命化事業費	一般	6-⑥	230,000	/	活動指標			→ 現状維持	160,000	/	活動指標			→ 現状維持
						工事実施橋りょう数						工事実施橋りょう数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				1橋	2橋	A					2橋				

土木課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度					平成30年度						
				予算額(千円)	決算額(千円)	活動指標			方針	予算額(千円)	決算額(千円)	活動指標			方針
10	河川一般経費	一般	5-⑥	671	/	活動指標			→ 現状維持	671	/	活動指標			→ 現状維持
						コスト削減率（H28年度当初予算対比）						コスト削減率（H29年度当初予算対比）			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				1%	33%	A				1%					
11	県施行急傾斜地崩壊対策事業負担金	一般	5-⑥	16,000	/	活動指標			↗ 拡大	19,000	/	活動指標			↗ 拡大
						工事施行延長（他事業区間を含む）						工事施行延長（他事業区間を含む）			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				128m	128m	A				185m					
12	急傾斜地崩壊対策事業費	一般	-	32,500	/	活動指標			— 終了	0	/	活動指標			— 終了
						工事施行延長						-			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				21.5m	21.5m	A				-	-	-			
13	河川改良単独事業費	一般	5-⑥	61,000	/	活動指標			→ 現状維持	89,600	/	活動指標			→ 現状維持
						年間の整備延長						年間の整備延長			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				120m	112m	B				145m					
14	県施行海岸環境整備事業負担金	一般	6-⑥	600	/	活動指標			→ 現状維持	600	/	活動指標			→ 現状維持
						海開き前の環境整備（海岸清掃）実施回数						海開き前の環境整備（海岸清掃）実施回数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				1回	1回	A				1回					
15	準用河川九手川改修事業費	一般	5-⑥	57,000	/	活動指標			↗ 拡大	60,000	/	活動指標			→ 現状維持
						年間の護岸整備延長						年間の護岸整備延長			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				30m	0m	C				80m					
16	浸水対策事業費	一般	5-⑥	159,000	/	活動指標			→ 現状維持	69,500	/	活動指標			→ 現状維持
						河川及び排水路の整備延長						河川及び排水路の整備延長			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				300m	423m	A				260m					
17	総合雨水対策10か年戦略事業費	一般	5-⑥	62,000	/	活動指標			↗ 拡大	55,000	/	活動指標			→ 現状維持
						事業着手箇所数						事業着手箇所数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				1箇所	2箇所	A				2箇所					
18	県施行松阪港改修事業負担金	一般	6-⑥	43,045	/	活動指標			→ 現状維持	43,045	/	活動指標			→ 現状維持
						期末の工事進捗率（t/Mt配管）						岸壁の整備延長			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				100%	100%	A				24m					

土木課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度					平成30年度						
				予算額(千円)	決算額(千円)	活動指標			方針	予算額(千円)	決算額(千円)	活動指標			方針
19	港湾管理一般経費	一般	6-⑥	304	/	要望活動の実施			→ 現状維持	300	/	要望活動の実施			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1回	2回	A				1回			
20	県施行街路事業負担金	一般	6-⑥	43,667	/	年間の事業進捗率			→ 現状維持	27,000	/	年間の事業進捗率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						2%	2%	A				2%			
21	都市公園維持管理事業費	一般	6-⑥	175,146	/	定期的な清掃等の実施			→ 現状維持	182,809	/	定期的な清掃等の実施			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						月1回	月1回	A				月1回			
22	都市公園整備事業費	一般	6-⑥	20,960	/	四阿建て替え			→ 現状維持	26,000	/	四阿建て替え			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1棟	1棟	A				1棟			
23	公園一般経費	一般	6-⑥	522	/	都市緑化推進運動のPR活動			→ 現状維持	523	/	都市緑化推進運動のPR活動			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						2回	2回	A				2回			
24	総合運動公園建設事業費(単独)	一般	6-⑥	76,826	/	期末の整備率			→ 現状維持	71,875	/	期末の整備率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						90%	88%	B				90%			
25	総合運動公園建設事業費(補助)	一般	6-⑥	325,000	/	期末の整備率			→ 現状維持	360,000	/	期末の整備率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						90%	88%	B				90%			
26	道路橋りょう災害復旧事業費	一般	6-⑥	2,000	/	被災した施設の復旧率(国災は除く)			→ 現状維持	2,000	/	被災した施設の復旧率(国災は除く)			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						90%	91%	A				90%			
27	河川災害復旧事業費	一般	5-⑥	2,000	/	被災した施設の復旧率(国災は除く)			→ 現状維持	2,000	/	被災した施設の復旧率(国災は除く)			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						80%	83%	A				80%			

【課長シート】

組織名	建設保全課	作成者（評価者）	課長 阪井 正幸
関係する 「実行宣言」	平成29年度	地域における住環境の整備を進めます！	
	平成30年度	安全で快適な生活空間の維持管理に努めます！	
関係する『総合計画』施策		5－① 交通安全対策の充実	
		5－⑥ 浸水対策の充実	
		6－⑥ 道路・公園の整備	
課の基本方針と使命			
<p>建設保全課は、生活道路や小河川、排水路などの維持管理を行います。</p> <p>施設の老朽化などの課題がありますが、側溝修繕や道路舗装などを行うことにより、市民からいただく多種多様な要望に対する取組及び安全で快適な生活空間の維持に努めています。</p> <p>地域住民の要望に対する十分な調整や協議及び地域間バランス、優先順位を考慮した事業実施や、交通安全対策事業として事故が起きた箇所など、危険箇所に対し交通弱者に配慮した交通環境の迅速な整備、また、不法占用物件に対する指導に努めます。</p>			

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・交通安全施設修繕事業では、ガードレールを224m修繕しました。
- ・道路・河川維持修繕事業では、地元要望604件に対し370件、約61%実施しました。
- ・道路清掃等事業では、50箇所の清掃業務を行いました。
- ・雪寒対策道路維持事業では、3回の降雪がありましたが、パトロールを含め7回対応し降雪回数に比べ4回多く凍結防止対策を行いました。
- ・道路維持一般経費では、建設保全課が管理する照明灯のLED化を7本行いました。
- ・中川駅東西連絡地下道管理事業では、防犯カメラを2台設置しました。
- ・水防施設管理事業では、水防倉庫全体で土のう袋55,300袋を配備し災害時に備えました。
- ・水防一般経費では、ライフジャケット50着を購入し関係各所へ配布し災害時に備えました。

【達成できなかったこと】

- ・道路台帳整備事業では、測量調査距離数として20kmの目標に対し平成29年度新規認定市道路線が見込みより少なく延長実績が13kmとなりました。
- ・街路樹剪定等事業では、街路樹等の維持管理を行っていますが、保全に適さない樹木伐採本数として20本の目標に対し倒木等の危険性がある対象樹木が16本でありました。
- ・交通安全対策施設整備事業では、カーブミラー設置100基の目標を掲げましたが、設置要望の減少及び設置基準等により68基の設置に留まりました。
- ・道路施設点検事業では、道路照明点検数120基の目標に対し台帳と現地との異差等で68基点検しました。
- ・最終処分場関連維持修繕事業では、側溝整備の延長240mの目標に対し地元調整ができず実施延長が168mとなりました。
- ・道路事故対策緊急整備事業では、区画線整備延長22kmの目標に対し区画線以外での対策を行った箇所もあり実施延長が17kmとなりました。
- ・樋門・樋管等管理事業、調整池管理事業の電気代の節約では台風の襲来が平成28年度は2回、平成29年度は5回であったため前年比は樋門・樋管で+12%、調整池で+2%となりました。

建設保全課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
1	交通安全施設修繕事業費	一般	6-⑥	11,110	/	ガードレール修繕延長			→ 現状維持	10,888	/	ガードレール修繕延長			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						200m	224m	A				200m			
2	道路維持修繕事業費	一般	6-⑥	349,954	/	要望に対する実施達成率			→ 現状維持	350,011	/	要望に対する実施達成率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						65%	61%	A				65%			
3	道路清掃等事業費	一般	6-⑥	13,517	/	清掃を行う箇所数			→ 現状維持	13,247	/	清掃を行う箇所数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						48箇所	50箇所	A				48箇所			
4	雪寒対策道路維持事業費	一般	6-⑥	3,048	/	積雪回数を上回る凍結防止対策回数			→ 現状維持	2,987	/	積雪回数を上回る凍結防止対策回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1回	4回	A				1回			
5	道路台帳整備事業費	一般	6-⑥	25,113	/	測量調査距離数			→ 現状維持	20,000	/	測量調査距離数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						20km	13km	C				10km			
6	街路樹剪定等事業費	一般	6-⑥	15,300	/	保年に適さない樹木伐採本数			→ 現状維持	14,994	/	保年に適さない樹木伐採本数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						20本	16本	B				20本			
7	交通安全対策施設整備事業費	一般	5-①	30,960	/	カーブミラー設置数			→ 現状維持	31,230	/	交通安全対策実施箇所数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100基	68基	C				100箇所			
8	道路施設点検事業費	一般	6-⑥	8,070	/	道路照明点検数			→ 現状維持	7,909	/	道路附属施設点検箇所数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						120基	68基	C				30箇所			
9	最終処分場関連維持修繕事業費	一般	6-⑥	15,500	/	側溝整備の延長			↘ 縮小	6,000	/	側溝整備の延長			↘ 縮小
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						240m	168m	B				50m			

建設保全課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度							
				予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標		方針	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標		方針		
10	道路事故対策緊急整備事業費	一般	5-①	10,000	/	区画線整備延長		→ 現状維持	10,000	/	事故防止対策箇所数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						22km	17km				B	15箇所			
11	道路維持一般経費	一般	6-⑥	33,523	/	LEDへの更新個数		→ 現状維持	34,194	/	LEDへの更新個数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						5本	7本				A	5本			
12	中川駅前・連絡道管理事業費	一般	6-⑥	26,441	/	カメラの設置		→ 現状維持	16,550	/	エスカレーターの維持管理不備を原因とする停止回数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						2台	2台				A	0回			
13	河川維持修繕事業費	一般	5-⑥	73,343	/	要望に対する実施達成率		→ 現状維持	65,804	/	要望に対する実施達成率		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						65%	61%				A	65%			
14	樋門・樋管等管理事業費	一般	5-⑥	22,529	/	電気代の節約		→ 現状維持	23,178	/	ポンプ場の管理不備を原因とするトラブル発生件数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						5%	+12%				E	0件			
15	調整池管理事業費	一般	5-⑥	7,405	/	電気代の節約		→ 現状維持	8,356	/	調整池管理不備を原因とするトラブル発生件数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						5%	+2%				E	0件			
16	水防施設管理事業費	一般	5-⑥	1,063	/	土のう袋の倉庫配備数		→ 現状維持	2,152	/	土のう袋の倉庫配備数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						19,000袋	55,300袋				A	15,000袋			
17	水防一般経費	一般	5-⑥	519	/	ライフジャケット購入数		→ 現状維持	1,057	/	水防倉庫への土のう袋配備率		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						50着	50着				A	100%			

【課長シート】

組織名	住宅課	作成者（評価者）	課長 田畑 吉隆
関係する 「実行宣言」	平成29年度	「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に沿った業務を進めます！	
	平成30年度	「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に沿った業務を進めます！	
関係する『総合計画』施策	2-④ 地域福祉・生活支援の充実		
課の基本方針と使命			
<p>住宅課は、昭和40年代以降を中心に市営住宅の整備を進め、現在では改良住宅等も含め管理戸数が1,674戸となっており、住宅に困窮する低所得者等に対して低廉な家賃で賃貸し、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的としています。</p> <p>基本業務として、市営住宅及び関連施設の管理、住宅の入退去事務、使用料の徴収、不正入居、悪質滞納者への対応などを行うとともに、平成28年度に提出された「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」により頂いた事項の実現に向け、平成29年度からは関連事業の予算化や具体的な事務・調査・検討等を行うなど、継続して業務の推進を図っていきます。</p>			

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅管理運営事業では、現年度家賃徴収率の向上を目標として98%の実績でした。又、市営住宅老朽化対策に伴う住替えは宝塚団地など13戸行いました。 ・市営住宅維持修繕費では、団地内防犯灯のLED化について38基の目標に対して次年度予定分を含め52基を実施し、平成26年度から進めてきた当該LED化が完了しました。 ・一般管理経費では、住宅新築資金等貸付事業における滞納に関する現況調査の全件実施に対して97%の調査実績でした。 ・指定管理の受託実績のある民間事業者から資料を求める等の調査とともに、委託する業務・市で行うべき業務の整理を課内会議で検討するなど、指定管理導入に向けた検討を進めました。
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅修繕工事費では、ベランダ手摺塗装工事を100戸実施したが、塗装だけでは劣化に対応しきれない箇所が確認されたため、一部取替施工を追加したことによる経費増により、施工戸数を調整したことから89%の達成率となりました。 ・公営住宅ストック改善事業費では、屋上防水、外壁改修、給水システム（受水槽）改修を8棟で行ったが、社会資本整備交付金（国補）を利用した事業であり、その交付額に合わせて施工棟数を調整したことから80%の達成率となりました。 ・利便性係数及び市営住宅使用料（家賃）の見直しについては、平成29年度に見直しを行い平成30年度から新たな家賃基準の適用をめざして業務の進捗を図ったが、大幅な家賃増となる事例があり係数の見直しや家賃に係る激変緩和の検討が必要になるなど最終的な体制整備には至らず、更に調査を行い次年度以降の対応となりました。

住宅課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
1	市営住宅管理運営事業費	一般	2-④	59,553	/	①現年度家賃徴収率の向上 ②市営住宅老朽化対策としての住替え			→ 現状維持	51,337	/	①現年度家賃徴収率の向上 ②市営住宅老朽化対策としての住替え			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						①98% ②11戸	①98% ②13戸	A				①98% ②11戸			
2	市営住宅維持修繕費	一般	2-④	111,985	/	団地内防犯灯のLED化			→ 現状維持	103,878	/	ベランダ帯防水			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						38基	52基	A				40戸			
3	市営住宅修繕工事費	一般	2-④	36,700	/	物置改修、ベランダ手摺塗装			↗ 拡大	51,691	/	物置改修、ベランダ手摺塗装			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						112戸	100戸	B				122戸			
4	公営住宅ストック改善事業費	一般	2-④	49,678	/	屋上防水、外壁改修、給水システム(受水槽)改修			↗ 拡大	65,136	/	屋上防水、外壁改修、給水システム(受水槽)改修			↗ 拡大
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						10棟	8棟	B				12棟			
5	一般管理経費	特別	-	881	/	滞納に関する現況調査			→ 現状維持	806	/	滞納繰越分の徴収率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	99%	A				3%			

【課長シート】

組織名	用地対策課	作成者（評価者）	課長 山路 伸之
関係する 「実行宣言」	平成29年度	迅速で正確な事務処理を行います！	
	平成30年度	迅速で正確な事務処理を行います！	
関係する『総合計画』施策	5-⑥ 総合雨水対策による床上浸水被害ゼロ		
	6-⑥ 道路・公園の整備		
課の基本方針と使命			
<p>用地対策課は、市所管の公有財産（道路、河川、水路等）の境界確認、それらに伴い発生した用途廃止、寄附等の登記業務、公共用地買収業務及び公拡法申請業務を迅速で正確な事務処理を行うことを基本方針とします。</p> <p>いずれの業務も近年の土地に関する権利意識の高まりがあることから、関係者の方々に、ご理解、ご納得をいただけるようきめ細やかな対応を心掛けます。また、各職員が土地に関する専門的な知識はもちろん、道路や河川、不動産登記、税など様々な知識が必要となってくることから、各種研修に参加しスキルアップに努めるとともに、関係各課との情報共有を図り組織力の向上に努めていきます。</p>			

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収業務では、「海会寺幸生線」「星合舞出線」の道路改良工事において買収予定8筆に対して6筆、75%の買収が完了しました。また、「六軒市場ノ庄2号線」道路改良工事においては8筆の用地交渉を行い取得することができました。
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地対策事業では、境界立会い申請受理から、目標とする期間3週間以内に実施できたものは、申請件数269件に対して88件、約33%でした。境界立会いを行うにあたり、申請者・地元自治会・関係隣接地の所有者等の日程調整に時間を要するものや、申請者の意向で立会日を指定する場合がありますその時点で21日を超えての日程指定もありました。又、申請地によっては、過去の立会い資料の確認や、古い関係書類（分筆図・旧図）、法務局等での調査にかなりの時間を要することや、立会いと合わせて用地の寄附等があるケースもあり立会い日程が目標である3週間以内に決まらない状況がありました。

用地対策課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
1	用地対策事業費	一般	-	15,300	/	申請受理から立ち合い実施まで3週間			→ 現状維持	12,930	/	申請受理から立ち合い実施まで3週間			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						50%	33%	C				50%			

【課長シート】

組織名	都市計画課	作成者（評価者）	課長 廣田 昇
関係する 「実行宣言」	平成29年度	市民が住みやすく誇りをもつことが出来るまちづくりの方針を示します！	
	平成30年度	地域の特性を生かした都市づくりをめざします！	
関係する『総合計画』施策	6-④ まちづくりの推進		
	6-⑤ 景観の保全		
課の基本方針と使命			
<p>都市計画課は、松阪市の自然環境に恵まれた景観、また城下町の都市構造基盤、主要な街道が集まる交通の要衝として繁栄した歴史と文化に培われた歴史的なまち並み、これらの美しく豊かな景観を、次世代まで継承していきます。そのために、策定後8年が経過する「松阪市景観計画」は、その運用等における課題とその解決方法を検討し、より良い景観形成を実現するために松阪市景観計画の見直しを行うこととしています。併せて、景観重点地区候補地の地域の景観まちづくり活動を支援し、重点地区指定に向けた取組も行います。</p> <p>また、人口減少・超高齢化に伴う空地・空家の増加によるコミュニティの衰退や防災・防犯上の危険性並びに税収の減少や社会保障費の増大による地方財政の逼迫が現実味を帯びてきている中で、長期的に現在の暮らしやすさとまちの活力を維持していくため、社会情勢の変化に対応できるまちづくりの計画が必要とされており、松阪市の顔である中心市街地が元気で魅力あるまちになるよう、公共施設の配置を中心とした実効性のある土地利用計画が完成し、計画の推進を図っています。また、松阪市の都市計画に関する基本的な方針において、社会情勢の変化に伴う対応や作成から概ね10年が経過したことから「松阪市都市計画マスタープラン」の現状と課題、将来フレーム、将来都市像、土地利用計画等について必要な見直しを行い、また今後の課題に対応するために都市構造を見直し、住宅及び医療施設、福祉施設、商業施設などの都市機能の増進に著しく寄与する施設の立地の適正を図るための計画（立地適正化計画）の作成を平成30年度完成に向けて取り組んでいます。</p>			

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・屋外広告物事業では、許可事務、措置命令・指導事務、指定事務を行い、屋外広告物適正化旬間中には市内一円のパトロールを4回実施し、また違反屋外広告物の簡易除去などを行いました。
- ・都市計画審議会事業では、都市計画審議会を1回開催し都市計画の変更等を審議していただきました。
- ・都市計画マスタープラン策定事業では、松阪市都市計画マスタープランの見直し、立地適正化計画に策定に向けて、庁内検討委員会を4回、庁内作業部会を5回開催し検討を行いました。
- ・都市計画変更事業では、松阪都市計画ごみ焼却場の廃止、ごみ処理場の変更にあたり、関係各課等と検討・協議を行い、都市計画の変更を行いました。
- ・都市計画一般経費では、駅西地区の計画に伴う調査研究を行うために先進地視察を3回実施しました。
- ・中心市街地整備事業では、松阪市生き生きプラン推進会議を5回開催し「豪商のまち松阪生き生きプラン2」作成しました。
- ・「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画作成事業では、平成28年度からの内容を整理し「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画を平成29年5月に完成させました。

【達成できなかったこと】

- ・都市景観推進事業では、景観絵画コンクールの実施や景観交流会を実施し景観に対する取組を推進しましたが、歴史的まちなみ修景整備事業補助金の交付にあたって景観重点地区からの申請が0件でした。

都市計画課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度					平成30年度						
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
1	屋外広告物事業費	一般	6-⑤	3,794	/	屋外広告物適正化旬間中のパトロール回数			→ 現状維持	2,885	/	屋外広告物適正化旬間中のパトロール回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						2回	4回	A				2回			
2	都市計画審議会事業費	一般	6-④	379	/	都市計画審議会の開催回数			→ 現状維持	378	/	都市計画審議会の開催回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1回	1回	A				1回			
3	都市景観推進事業費	一般	6-⑤	9,569	/	歴史的まちなみ修景整備事業補助金の交付実績			→ 現状維持	9,563	/	歴史的まちなみ修景整備事業補助金の交付実績			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1件	0件	E				1件			
4	都市計画マスタープラン策定事業費	一般	6-④	14,681	/	庁内作業部会の開催回数			→ 現状維持	7,279	/	庁内作業部会の開催回数			— 終了
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						5回	5回	A				3回			
5	都市計画基礎調査事業費	一般	6-④	/	/	土地利用現況調査を行う			/	4,650	/	土地利用現況調査を行う			— 終了
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1回						1回			
6	都市計画変更事業費	一般	6-④	4,266	/	都市計画変更等の検討回数			→ 現状維持	4,180	/	都市計画変更等の検討回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1回	1回	A				1回			
7	都市計画一般経費	一般	6-④	5,128	/	先進地視察			→ 現状維持	5,363	/	先進地視察			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1回	3回	A				1回			
8	中心市街地整備事業費	一般	6-④	315	/	活き生きプラン推進会議の開催回数			→ 現状維持	1,945	/	活き生きプラン推進会議の開催回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						5回	6回	A				5回			
9	「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画作成事業費	一般	6-④	3,068	/	「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画の完成			— 終了	-	/	-			— 終了
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						5月	5月	A				-	-	-	

【課長シート】

組織名	営繕課	作成者（評価者）	課長 須崎 隆夫
関係する 「実行宣言」	平成29年度	営繕工事を適正に実施します！	
	平成30年度	公共施設の営繕工事を適正かつ着実に実施します！	
関係する『総合計画』施策		—	
課の基本方針と使命			
<p>営繕課は、市の公共施設における営繕工事及びその関連業務を適正に実施することを使命とし、安全で安心して使用できる公共施設の構築や快適で機能の充実した施設とすることをめざしています。</p> <p>さらに、誰もが利用できるユニバーサルデザインに基づいた施設として、市民の利用しやすさを考慮して施設の設計及び工事を行っています。</p> <p>また、工事に伴う財政上の効果を上げ、完成後の運営においても適正な管理が行えるように考慮していくことを基本方針としています。</p>			

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営繕管理事業では、各課から依頼のあった松浦武四郎誕生地保存修理工事や図書館改修工事などの工事78本 約25億円、業務委託23本 約2億2千万円を工期内に無事完成させることができました。
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし

営繕課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針		
1	営繕管理事業費	一般	-	4,311	/	営繕業務を適正に実施する			↗ 拡大	4,979	/	営繕業務を適正に実施する			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	A				100%		-	

【課長シート】

組織名	建築開発課	作成者（評価者）	課長 関岡 輝明
関係する 「実行宣言」	平成29年度	適切かつ円滑な建築・開発行政を行います！	
	平成30年度	適切かつ円滑な建築・開発行政・空家等対策を行います！	
関係する『総合計画』施策	5-④ 防災・危機管理対策の充実		
	6-④ まちづくりの推進		
課の基本方針と使命			
<p>建築開発課は、平成17年4月1日より「特定行政庁」となり、建築確認・許可等の建築基準法に関する全ての事務を行っています。建築行政は、構造計算書偽装事件以降、建築確認審査はより厳格かつ円滑な審査が求められており、また毎年法改正もあり、道路・建築・開発相談及び指導等においても、年々複雑になってきており、職員の人材育成・能力向上が重要であるため日々努力をしています。</p> <p>平成28年度より、市民の命を守り、安全で安心な生活環境を実現するために「松阪市耐震改修促進計画」を改正施行し、周知・啓発に努めています。</p> <p>平成29年度に実施した建築確認電子台帳整備事業により、災害等により紙媒体が滅失した場合でも、電子データが安全に保管され、また建築計画概要書等の開示請求の迅速な対応も可能となり、市民サービスの向上につなげていきます。また、開発指導は、平成29年度より三雲・嬉野管内の業務についても本庁で一括して対応しています。</p>			

達成できたこと
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築確認電子台帳整備事業では、過去からの建築確認台帳（約60,000件）及び建築計画概要書（約75,000件）の電子化、位置特定、データベース化を行いました。これによって、災害等による紙媒体の消失がなくなり安全にデータの保管をするとともに、建築計画概要書等の開示請求にも迅速な対応が可能となり市民サービスの向上につなげます。 ・建築開発事業では、道路・開発相談等の迅速化に努めており、事前相談等の処理日数を7日以内に処理をすることを目標にし、相談内容の重複等により遅くなった事案もありましたが、事前相談約1,300件に対して約1,200件 約92%の処理ができました。
達成できなかったこと
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし

建築開発課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針		
1	空家等対策事業費	一般	5-④	300	/	空家相談対応		↗ 拡大	13,009	/	空家等対策計画の策定		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						30%	36%				A	100%			
2	建築開発事業費	一般	6-④	7,761	/	事前相談等の処理日数		↗ 拡大	9,680	/	事前相談等の処理日数		↗ 拡大		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						90%	92%				A	90%			
3	建築確認電子台帳整備事業費	一般	-	86,590	/	建築計画概要書等の電子化		— 終了	0	/	-		— 終了		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						100%	100%				A	-		-	-